

堆肥の生産・販売に関するQ&A

Q

水分調整（比重調整）に副資材を用いることが堆肥化に有効なことはよく理解できました。とくにオガクズが有効ですが、最近ではオガクズが非常に入手しにくくなっています。低コストで便利な代替資材はありませんか。

A

発酵可能な比重調整が目的

堆肥化発酵唯一の条件が比重調整ですから、比重調整さえ可能であれば、どんな資材でもオガクズの代替資材として使用できます。

代替資材の比重調整能力が異なるために必要添加量は資材ごとに異なりますが、発酵可能な比重まで調整すれば、どの資材でも活発な堆肥化発酵が可能になります。

使われている資材の例

全国各地で使われているオガクズ代替副資材としては、モミ殻、麦かん、樹木の剪定屑、キノコ栽培の廃菌床、廃木材破砕物、ゴルフ場の芝カス、建具・木工所・家具工場のオガクズやプレナー屑、土手・河川敷の刈り草、ブロイラーふん、低水分の鶏ふんや肉牛ふん、戻し堆肥、低水分な豚・鶏ふん堆肥等、多種多様な資材が使われています。

入手の難易

いずれの資材も注文すれば配達してくれるオガクズと違って収集・保管に難があったり、入手時期や地域が限られていたり、積極的な

入手努力が必要であったりしますが、堆肥化には副資材が必要不可欠なのですから、あらゆる努力をして収集する覚悟が必要です。

戻し堆肥の利用

戻し堆肥は無料で収集の必要もありませんが副資材として使用した時の水分で戻らなければ継続的な使用ができませんので注意が必要です。低水分の豚・鶏ふんや堆肥を使用すると肥効に優れた堆肥ができるメリットもあります。

オガクズも使えるようにしよう

オガクズ入手困難の理由がコストであれば、しっかりとオガクズを購入して良質堆肥を生産し、努力してオガクズ価格以上で堆肥を販売することによりオガクズ販売収入を得ることもできます。

また、単一資材での代替は難しいので入手可能なオガクズ量は確保し不足分を複数の資材を組み合わせ使用するなどの柔軟な対応も必要です。

(財) 畜産環境整備機構
本多 勝男